すべてのこどもに適切な小児医療と快適な闘病生活を

特定非営利活動法人（NPO）こども医療ネットワーク

こども健康相談会 in 種子島 報告書

平成24年8月19日（日）

10:00-11:30 こども医療講演会 （約10名）

11:30-12:30 健康なんでも相談会 （4名）

参加者:

長谷川 大子（小児歯科）、溝田 美智代（小児内分泌）、
櫨木 大祐（小児科）、稲葉 泰洋（小児科）

現地サポート:

中種子町保健福祉課 上田

総評: 南北に長い種子島は、北部の西之表市に小児科医 2名が常駐しています。中種子町、南種子町には常駐小児科医がおらず、急性疾患の対応やささいな事での相談など、ご不便を感じている方もおられるかと思います。また地域の特徴として、鹿児島県の児童相談所による定期的な巡回療育相談が行なわれており、療育については非常に熱心な地域です。しかしながら予防接種率の低さや、虫歯の保有率の高さなど改善すべき点があるのも事実です。

そのような中、種子島で4回目の講演会・相談会を開催しました。講演会は地域の特性にあわせて内容を吟味し、小児科の稲葉先生からは予防接種について最近の話題も交えて講演していただきました。同じく小児科の溝田先生からは、小児のメタボリックシンドロームについて生活習慣で気を付ける点など、具体的な例を用いてお話いただきました。また、小児歯科の長谷川先生からはこどもの虫歯予防について、種子島の虫歯保有率を他の地域と比較しながら、虫歯の原因や歯磨きの方法など分かりやすくお話いただきました。

今回の反省点として、聞きに来られた一般の方が少なかったことが挙げられます。事前の案内として、2か月前から健診などの機会に保健センターでパンフレットを配布したり、地域の保育園や幼稚園で配ったり、町の広報紙へ掲載したりしましたが、もう少し対象を絞った方が良かったのかと考えています。（文責:櫨木 大祐）

Save the Children Save the Children Save the Children